

日学様より

7月



目次



(1) キリスト教の伝来
(2) キリスト教伝来の語呂合わせ



12使徒の熱血青年トマス



12使徒の熱血青年トマス

担当



① キリスト教の伝来



日本にキリスト教が伝来したのは1549年の8月15日のことです。
 その当時は、戦国時代の真最中でしたが、^{（マリア被昇天 第二次世界大戦終戦）}
 イエズ会のフランシスコザビエルを含む宣教師の来日布教が
 始まりました。
 その後、多くの宣教師が海から渡ってくるようになり、日本全国
 にキリスト教と一緒に南蛮文化（学問、芸術、技術など）
 が伝来していききました。
 その当時日本ではキリスト教の宣教師や信者のことを
 フリジタンと呼びましたが、フリジタンの教は宣教師の布教や
 織田信長のキリスト教保護により西日本を中心に全国で教
 育にも及んだとされています。

② キリスト教伝来の語呂合わせ

以後(15)よく(49)なるキリスト教
 キリスト教で非行(15)おとなしく(49)なる。
 イエズ会御一行(15)よく(49)来日して布教。

7月15日は使徒トマスの記念日であることを知っていますか？
 『ヨハネによる福音書』によると、トマスは「情熱のある弟子」だと
 書かれています。トマスはイエスバ死んだ後にインドへ行き、そこで
 亡くはつていて、そのため彼の眠る聖堂は南インドにあります。
 とんはトマスですが、空気の読めはいい所であつたので、
 死んだ後にも男を生き返らせようとしたイエスが
 「彼のところへ行こう」と呼ばれると
 「彼のところへ行こう、私と一緒に死にましよう」と言ったという
 エピソードが残っています。お、疑い深い性格であつたので
 他の弟子に比べ「イエスが復活した」と言うのを
 「私の指をイエスの脇腹の剣の跡に入れるまで信じない」と
 言ったことから、トマスは疑心のトマスと呼ばれ、
 イエスの脇腹は疑い深いトマスと呼ばれます。